

会 議 概 要

第 1 回 【修斉校区】学校適正化に向けた校区懇談会

《開催日》令和4年6月21日（火曜日）

《時 間》19：30～21：00

《場 所》葛城地区公民館 講座室 1

《参加者》地域参加者：10名 教育委員会事務局：4名

＜議題等＞

- 1 開会
- 2 事務局挨拶
- 3 懇談会参加者・事務局の紹介
- 4 議題
 - (1) 事務局からの説明事項について
 - (2) 意見交換

事務局	(別添資料に沿って内容を説明)
参加者	岸の丘町を含む、山直南校区の現状は？
事務局	<p>山直南校区については、これまでに校区長をはじめ、地域のご代表の方々と懇談会設置に向けた協議を重ねてきたが、合意には至らなかった。今後、地域から協議に向けた相談等があれば、いつでも協議をさせていただく姿勢である旨お伝えしている。</p> <p>補足として、旭・太田校区、常盤校区、山直北・城東校区については第1回懇談会を既に開催しており、山滝校区は来週開催予定。東葛城校区は懇談会のメンバーについて現在調整中。天神山校区については、懇談会の設置について校区内で協議いただいているところ。</p>
参加者	<p>8ページの資料を拝見すると、現在の校地・校舎を活用しての施設整備となっているが、生徒たちが通常の学校生活を送りながら工事を行うことになるのか。学習や部活動に制限が生じると思うが、どのように対応するのか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、生徒たちが学校生活を送りながらの施設整備となるが、例えば、棟ごと順番に建替工事を進めるといったことや、夏休みなど</p>

	<p>の長期休業期間に集中的に工事を行うなど、子どもたちの学習環境に支障をきたすことのないよう対応する。</p> <p>具体的な校舎のレイアウトや整備手法については、今後、地域・保護者の皆様や、学校関係者の皆様のご意見も踏まえ、より望ましい手法を決定していきたい。</p>
参加者	<p>8ページの資料では、小学生用サブグラウンド新設とあるが、ここには現在プールが設置されている。今後プールはなくなるということか。</p>
事務局	<p>学校水泳については教育課程で定められている必修科目であるため、今後も引き続き実施するが、近年では、炎天下による熱中症の心配や、天候に左右され授業時間が確保できないといった課題等があり、今年度から屋内プールで民間委託による水泳授業を試験的に進めているところ。この結果を踏まえ、今後市全体として民間委託化の検討を進めていきたい。</p>
参加者	<p>小学生と中学生では体格差がかなりあるため、けがの心配や、小中で休み時間などが違ったら、外で思いっきり遊ぶことができなくなり、子どもたちにストレスがたまってしまうことも心配（別棟なら大丈夫かなと思う点もあるが）。</p> <p>（仮称）葛城小中一貫校は、小学生と中学生が同じ校舎で学ぶことになるのか。</p>
事務局	<p>子どもたちの安心・安全な学校生活の保障を最優先に検討していく。8ページの資料はあくまでも一例として挙げているもので、小学生と中学生が普段の授業を行う教室棟は別棟式にするといった手法も考えられる。また例えば、新しい校舎の屋上を活用できるようにするといった工夫や、葛城中学校敷地の法面を活用するといった工夫も考えられる。</p> <p>視察先の小中一貫校では、小学生と中学生が互いに思いやりや憧れの気持ち芽生え、良い関係が育まれているといったお話も伺ったところ。</p> <p>一貫校というこれまでにない学校形態になり、心配な点や不安な点もたくさんあると思うが、地域・保護者の方のご意見を十分にお伺いし、皆様とともに新しい学校をビルドしていくという気持ちで取り組んでいく。</p>
参加者	<p>安心・安全な学校生活ということが、保護者が一番気にするところ。子ども同士のけがの心配だけでなく、例えば普段の学習が少し遅れをとってしまう子へのケアや、男の子だけと女の子の気持ちを持つ子へのケア、性</p>

事務局	<p>に対する教育といったことなどもしっかりと対応していただきたい。</p> <p>LGBT への配慮や支援が必要な子どもへの配慮もさらに意識して取り組まないといけないと認識している。</p> <p>一方で子どもたちには多様性を育む力も身に付けてほしいと考えており、たくさん子どもたちがいる中で、先生方がそのような配慮をしっかりと行っていくことがとても重要であると考えている。</p> <p>再編の取組を進めていくにあたっては、ご指摘の点もしっかりと対応していく。</p>
事務局	<p>補足となるが、先日修斉校区から「修斉地区まちづくり基本構想」をご提出いただいたことは承知している。これを受けて、今後も引き続き、魅力あるまちづくりに向けて市も支援していくことに変わりないが、教育委員会としては、将来の子どもたちにもより良い教育環境のもとで学校生活を送っていただきたいと考えており、そのためにも、この修斉校区を含む葛城中学校区において、他市に負けない先進的で素晴らしい学校を新たに作りたいという思いで取り組んでいる。この点については教育長も同じ思いであり、施設整備に伴う必要な予算についても優先的に計上していく旨、市長部局とも調整を図っており、このことは地域説明会においてもそのようにお答えしているところ。</p>
事務局	<p>学校の規模が大きくなる、小中一貫校になるということで保護者の方が心配に思うところは十分に理解できる。</p> <p>一方、一貫校になり職員室が小中一緒になるということは、教職員だけでなく子どもたちにとっても9年間の学校生活を送っていく上で本当に大きなメリットになるのではと考えている。</p> <p>ご心配に思われる点については、今後も丁寧にお伺いし、その解消に向けてしっかりと取り組んでいく。</p> <p>この取組がもう一段階進んだ際は、(仮称)学校開校準備委員会の設置を予定している。この委員会には地域・保護者の方々、学校の先生方にも参加していただく事を想定しているが、例えば、この学校開校準備委員会のメンバーで先進事例の視察に出向き、施設整備の工夫や、学校運営面における疑問や不安を直接お伺いするといったことも一つの方策であると考えている。</p>

参加者	<p>新たな学校の設計業務は、(仮称)学校開校準備委員会が立ち上がらないと着手できないのか。また、提示された設計図面で納得できない場合も考えられるが、その場合はどうなるのか。</p>
事務局	<p>(仮称)学校開校準備委員会の設置が必須条件ではないが、設計業務に着手するにあたっては、もちろん費用が生じることとなり、必要予算について市議会の可決を得る必要がある。仮に、現在の実施計画(案)の段階で、市議会から可決を得て、設計図面を作成しても、今後の地域・保護者の皆様との協議次第ではそれが納得の得られないものになってしまう可能性もあり得る。公費を投入して実施する事業であり、その点については慎重に判断する必要があると考えている。</p> <p>設計図の作成にあたっては、地域・保護者の意見や思いが十分取り入れられるよう、事業者とも何度もやり取りしながら進めていくべきものと考えている。</p>
参加者	<p>本日の懇談会では、時間の都合もあり、質問できなかった方もいらっしゃると思う。今後どのように進めていくのか。</p>
事務局	<p>期限を設けずに、じっくりと時間をかけて話し合いを重ねたいと考えている一方、あまりにもそれが長引きすぎると小規模化の課題が進展する懸念もある。現時点からしっかりと議論を深めていきたいと考えている。</p> <p>第2回懇談会開催に向け、本日の説明を受けてのご意見やご質問をいただくために別途用紙を配布し、そこでご記入いただいたご意見や、本日のご意見等をもとに次回懇談会での話し合いを進めていきたいと思うがいかがか。</p>
参加者	<p>その方が良いと思う。</p>
事務局	<p>了解した。ご意見・ご質問用紙については別途作成の上、皆様にお配りするようにする。</p>
参加者	<p>懇談会のペースはどれぐらいになるのか。</p>
事務局	<p>1か月から1か月半ぐらいの間隔を想定しているが、メンバーの皆様と調整の上、決定していきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>